



週報 第13号

二本松
あだたらロータリークラブ



インスピレーションになるう

通算/第1192回 平成30年10月25日 会場/二本松商工会議所

2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

会長 渡辺 正弘 副会長 渡辺 章 クラブ会報 菊地 久子
会長エレクト 安部 敏弘 幹事 本多 勝也

会長あいさつ

会長 渡辺 正弘



ポリオのない世界まであと少し

ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅に取り組んでおり、1988年には世界保健機関(GPEI)を立ち上げました(近年にビル&メリンダ・ゲイツ財団も参加)。この活動の開始以来、全世界で年間35万件だったポリス症例数は、2018年8月1日現在は14件にまで減少しており、撲滅の達成まであと一步のところまで近づいています。

【ポリオとは?】

ポリスは非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。ポリオウイルスは人から人へ感染し、神経系を侵すことで身体のまひを引き起こしたり、死にいた

たることもあります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。日本では1980年を最後に症例はありませんが、海外からポリオウイルスが入る可能性があるため、日本でも乳児へのポリオ予防接種が必要とされています。

10月誕生祝い おめでとうございます



菅野秀夫 会員・藤井利則 会員(奥様に)

本日のプログラム

会員スピーチ 柳沼英雄会員

10・11月のプログラム

- 第1192回例会：10月25日(木) / 会員スピーチ 柳沼英雄会員
- 11月1日(木) / 休会
- 第1193回例会：11月8日(木) / 夜間移動例会・二本松RC合同例会
- 第1194回例会：11月15日(木) / ゲストスピーチ 鈴木真二様
- 11月22日(木) / 休会
- 第1195回例会：11月29日(木) / 地区大会報告会

幹事報告

「都市公園清掃」のご案内

- ◆開催日時 / 平成30年11月10日(土)現地集合
- ※午前6時30分～清掃開始
- 当日は、竹ぼうき・くま手・軍手等、清掃に適したものを持参ください。
- ※雨天の場合は中止となります。

●国際ロータリークラブ会長
バリー・ラシン

●国際ロータリー 2530 地区ガバナー
平井 義郎 (福島中央RC)

●県北第一分区ガバナー補佐
古俣 猛 (福島RC)

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 一、真実かどうか
 - 二、みんなに公平か
 - 三、好意と友情を深めるか
 - 四、みんなの為になるかどうか

創立 1993.6.30
承認 1993.9.10
認証状伝達式 1993.11.8
地区番号 2530
クラブ番号 29750
例会日 毎週木曜日(12:30~13:30)

例会場 二本松商工会議所
事務局 〒964-8577
福島県二本松市本町 1-60-1
二本松商工会議所
Tel0243-23-3211
Fax0243-23-6677

会員スピーチ

柳沼英雄会員



報告

- ◇開催日 2018年8月25日
- ◇主催 国際ロータリー第2530地区
会員増強・拡大・ロータリー
情報委員会セミナー
- ◇於 福島県農業総合センター
13:30～
- ◇参加者 130名程度
- ◇基調講演
「会員基盤の向上と戦略計画」
- ◇講師 国際ロータリー
第1ゾーン
ロータリーコーディネーター
酒井 正人様

会員増強の取り組み

- ① 現会員の退会を防ぐ
年間退会者数200人未満に戻す。
2325人の8.5%以下
- ② 若い会員の増強
若い会員の増強でクラブの活性化を諮る。
- ③ 女性会員の増強
現在158人 (6.6%)
→180人 (1%以上UP)
※女性会員在籍0クラブ(22クラブ)には、
女性会員の入会を勧めてほしい。

- ④ 2530地区年齢分布
30～39 3%
40～49 14%
50～59 25%
60～69 35%
70以上 23%
- ⑤ 2015年度規定審議会の結果を受けて
クラブ運営に柔軟性を取り入れたか。
取り入れたクラブ 31RC
取り入れなかった 20RC
検討中 4RC 未回答 11RC
- ⑥ 柔軟性にどのように取り入れたか。
そしてどのように変化したか。

会員増強の進め方1(例)

大宮西RC、八王子西RC

- 1. 現会員への会員増強の呼びかけ。
 - ア) ロータリーの活動を発展させ継承し、
クラブの存続と、さらなる発展のため
に大変重要である。
 - イ) クラブ内が活性化する。
 - ウ) 現会員にとってもロータリーを改め
て学ぶ場になる。
 - エ) ロータリークラブの理念や活動を地
域に広める一助になる。
 - オ) クラブ他地区の経済的基盤を確かな
ものになる。

2. 会員増強の計画を立てる。

- 1) 会長、幹事、増強委員長など、2～3名の会員が、「どうしても会員増強をしなければ..」という気持ちを持つことが大事である。
- 2) 例会の会長挨拶で、「会員増強について」をテーマに話をします。また例会や委員会で「どのようにしたら新会員を増やすことができるか」話し合う機会をつくります。
- 3) クラブ理事会でも毎回「会員基盤の向上について」議題にする。
- 4) 会員数をいつまでに何人にしたいという具体的目標を立てて発表する。
- 5) 入会候補者に配布するクラブのPR資料やリーフレットを作る。

3. 会員増強の進め方2 (例)

- A) 増強委員会を中心に、対象者のリストアップをおこなう。
- B) クラブ会員に新会員候補者用紙を配布し、一人当たり1～2名の推薦者を期限まで提出してもらう。
- C) 入会した新会員に友人を紹介してもらう。
- D) 各クラブには各種団体の要職に就いていると思うので、その方をお願いし

て紹介していただく。

- H) 青年会議所OB、法人会青年部OBなどにこまめに声掛けする。
- I) J C. 商工会議所青年部、その他若い人の団体とコンタクトできる、ゴルフコンペ等の交流の場を設ける。

4. 候補者への呼びかけ

「異業種交流ができる」「ビジネスチャンスの拡大」「地域のために一緒に何か奉仕活動をやろう」など単純な呼びかけからスタートしている。(日頃のクラブ活動や奉仕・親睦活動等の写真入りパンフレットを持っていく)

地区ロータリー情報委員長

クラブ運営の柔軟性について

2016年の規定審議会でなぜ変更が必要となったのか？

柔軟性の適用例の紹介

例会と出席の要件に柔軟性を取り入れるスタートガイド。

などの報告がありました。

JICA 秋の大感謝祭で交流

JICA 二本松訓練所では10月27日(土)夜、市民交流イベント「秋の大感謝祭」を同訓練所研修棟講堂で開催し、今年度第三次隊訓練生や訓練所を支援するにほんまつ地球市民の会ら奉仕団体・観光商工団体・地区民・語学講師や職員ら約180人が参加・当クラブの会長/渡辺正弘らが祝辞を述べました。



猪苗代湖漂着 水草回収作業参加

◇日時 平成30年10月20日(土)
午前10時～11時45分

◇参加者

会長:渡辺正弘、幹事:本多勝也
菅野秀夫 会員、阿部佳文 会員
大藤務 会員



ニコニコ BOX

にこにこ BOX 委員長 藤井 利則

会長:渡辺正弘、幹事:本多勝也、善方邦雄会員、柳沼英雄会員、安部敏弘会員
菅野秀夫会員、佐藤壮一郎会員、平塚與志一会員、菅野守芳会員、秋山和久会員
齋藤敏夫会員

*米山記念寄付者・・・善方邦雄会員、秋山和久会員、渡辺正弘会員

*ロータリー財団・・・菅野守芳会員、

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会 委員長 藤井 利則

会員数	本日出席	出席率	メイクアップ	修正率
37名	23名	56%	14名	100%

ニコニコ BOX

目標額	500,000円
小計	12,000円
累計	198,000円